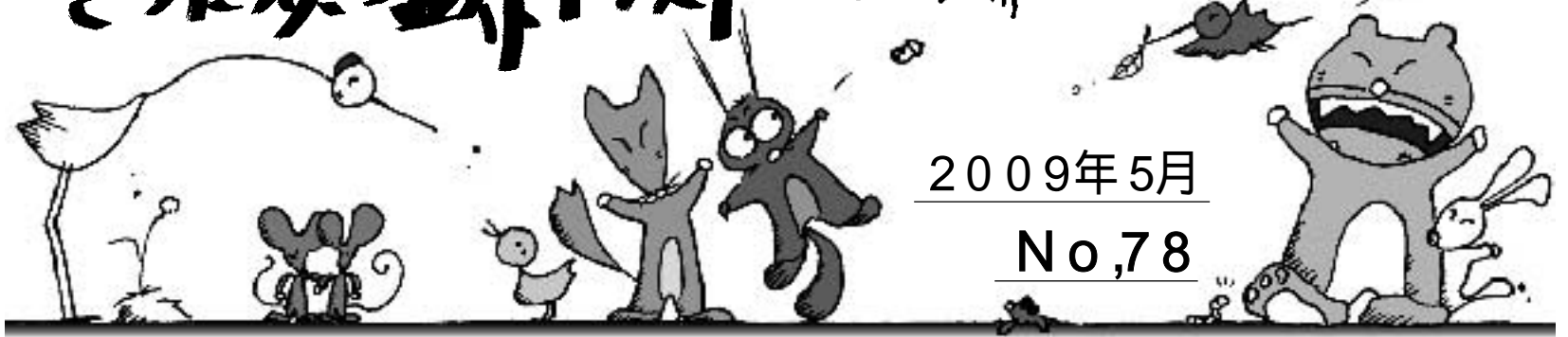


# きりたっぷ里 湿原トラスト

この湿原を子どもたちへ



2009年5月

No.78

## い・る・ど・り 「おかげ様で...」

全国のみなさんからの温かい応援により、この度の霧多布湿原50万坪買い取りプロジェクトが無事終了しました。町内の方々には、出会うたびに「おめでとう。これからも頑張ってるね」と嬉しい言葉をかけられます。

20数年間、このような活動を続けられたキーポイントは、自然保護について様々な考え方や方法がある中で、イギリスのナショナルトラストに学ぶ「守って、観せて、楽しむ」ことだったのではないかと考えます。

そして、町内外の霧多布湿原ファンとの信頼関係を築くことに気がつけてきたことも続けられた重要なポイントだと思っています。

先日、内輪でプロジェクト達成のお祝いをしました。「これからは大切です。使命を達成するためにおごることなく着実に地域活動を続けましょう」ということで会が閉じられました。

この度のプロジェクトで全国各地の皆さんから寄せられた寄付や温かいメッセージを得て、改めて「この湿原を子供たちへ」という使命を再確認することができました。

私たちの活動は、全国の皆さんの善意で成り立っています。みなさんが一生懸命働いて得たお金を私たちの活動に寄付して頂くことに深く感謝し、その気持ちに報いるよう更に頑張っていきたいと思えます。(瓜田)



## 浜中の文化遺産 第13回 ～昔の遊び・今の遊び～

昔の子どもたちはどんな風に遊んでいたんだろう? と思い、「子どもの頃はどんな風に遊んでいましたか?」と聞いてみました。

「昔はパッチ(メンコ)で遊んだなあ。侍の絵や、いろんな絵が書いてあったよ。あとは陣取りだな」と話してくれたのは水取場に住むおじいちゃん。陣取りは釘を地面に刺して、ささった釘を線で引いて陣を取っていく遊びです。「夏は今より暖かかったね。浜で泳いだよ。寒くなったら砂に埋まってあったまったね」昔の水取場の浜辺は遠浅で、海水浴するのに良い場所でした。一新会の方からもこどもたちが歩いて泳ぎにきていました。「よく相撲もとったね。石けりもしたよ。子どもは日が暮れるまでずっと外で遊んでいたさ」

「冬はスケートさ。下駄を拾ってその裏に針金をつけて氷の上をすべったよ。ゲロリって呼んでたよ」霧多布の町の中はまだ湿地が残っていて、冬は凍って子どもたちは手作りのスケート靴でスケートをしました。



ゲロリ

お話を聞いていて、昔のこどもは何でも遊びに変えてしまう名人! と思いました。でも、先日こども自然クラブの活動で乗馬をやっていた時のこと。乗馬をする順番を待っていた子どもたちが、海まで行ってどろどろになって遊んでいる子もいました。そんな姿を見ていたら、なんでも遊びに変えてしまうのは今も昔も変わらないのかなと感じました。

(美奈)

## はまなかグルメ 第13品 コンブの生パスタ

こんぶの粉を使って、簡単にパスタが作れます! こんぶは、ねこあしこんぶの粉がおすすめです。こんぶの風味が口の中に広がって、とても美味しいです。

味付けは普通のパスタのようにトマトソースでも、旬のホッキやカニを使ってもいいですね。(美奈)



### 材料(4人分)

小麦粉(強力粉) 200g  
こんぶの粉大さじ1 (手がけこんぶの残りを砕いて粉にする)  
塩 小さじ1 水 100cc  
タカナシバター 大さじ1強

### 作り方

- 1、粉とその他の材料を合わせて練る。(うどんを作る要領で)
- 2、まるめたものを涼しい場所で1時間程度ねかす。
- 3、できた生地を伸ばし好みの太さに切る。
- 4、たっぷりのお湯でゆでる。
- 5、ゆで時間は、パスタが完全に浮いてから食べてみて確認する。
- 6、お好みの味で召し上がれ!

コンブの生パスタは「きりたっぷ里」で食べられます!

{ 5月末まで 土・日のみ 11:30~15:00  
6月~9月 11:30~15:00(水・木休み) }

レシピ提供  
きりたっぷ里 武士聡さん